

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1998), 71(1): 123-126
Issue Date	1998-10-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/96425
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成10年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第71巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.71 no.1

物性研究

1998 / 10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

「物性研究」ホームページ

URL : <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

にあなたの研究グループをリンクしませんか？¹

「物性研究」では、'95年9月より、ホームページを開設して物性研究者への便宜を図ってきました。そのホームページには、同世代の研究者が互いの存在や畑違いの分野を知る機会の一つとなればと、「全国の物性関係の研究グループのホームページリンク集」のページを設けています。そこで、さらに内容を充実させるために、リンク集に掲載する研究グループを再度、募集します。

「物性研究」のホームページのリンク集に掲載を希望される研究グループの担当者の方は、メールで、大学名、所属名、研究グループ名、担当者名、ホームページのURL、研究グループの研究分野を書いて、下記のアドレス宛にお送りください。是非とも、ご協力をお願いいたします。

E-mail Address : busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

尚、次頁に現在張られているリンク先をご紹介します。

「物性研究」のホームページには、基研研究会の情報、全国のセミナー案内、他のサーバへのリンクなど、研究者に有用な情報を盛り込んでいます。また、次号予告、投稿の手引き、購読申込み方法など、「物性研究」誌の情報も得ることができます。バックナンバーのデータベースが完成し、創刊号からの掲載内容を、号別、著者別、内容別に、見る事ができるようになりました。バックナンバーで欲しい号があれば、オーダーフォームも用意してありますので、電子メールで注文できます。

是非、一度、「物性研究」のホームページをご覧ください。ご意見ご要望があれば、上記のアドレスまで、電子メールをお願いします。

¹ 従来「研究室」としていましたが、いろいろな規模と形態の研究単位（個人を含む）があるので「研究グループ」に改めました

全国の物性関係研究グループのリンク集（所在地の北から南順）

北大 理 数学教室

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/index-j.html>

東北大 理 物理 物性理論研究室

<http://www.cmpt.phys.tohoku.ac.jp/>

東北大 通研 沢田研究室（研究分野：ブレインコンピューティングシステム）

<http://www.sawada.riec.tohoku.ac.jp/index-j.html>

東大 相関基礎科学系（駒場） 金子研究室（研究分野：非線形科学、複雑系の物理）

<http://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/labs/kaneko/>

東大 相関基礎科学系（駒場） 池上研究室（研究分野：非線形科学、複雑系の物理）

<http://infidel.c.u-tokyo.ac.jp/>

東大 相関基礎科学系（駒場） 佐々研究室（研究分野：非線形動力学、非平衡現象論）

<http://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/labs/sasa/>

東大 相関基礎科学系（駒場） 清水研究室（研究分野：物性理論・量子物理学）

<http://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/labs/shimizu/>

東大 物性研究所 末元研究室（研究分野：光物性（実験系））

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/spectroscopy/suemoto/>

東工大 理 物性理論グループ（研究内容：強相関電子系、フラーレン等の電子状態、ニューラルネットおよびスピングラス、高分子、ポッツモデルの研究等）

<http://www.stat.phys.titech.ac.jp/>

東工大 理 数学 原研究室（研究分野：数理物理学、特に臨界現象と場の理論）

<http://www.mp.ap.titech.ac.jp/indexJ.html>

東工大 総合理工 物質電子化学専攻 岡崎研究室（研究分野：物理化学 シミュレーション）

<http://www.echem.titech.ac.jp/okazaki/okazaki.html>

統計数理研究所 予測制御研究系 伊庭幸人（研究分野：統計学、統計物理、モンテカルロ計算）

<http://www.ism.ac.jp/~iba/>

学習院大 理 物理 田崎研究室（研究分野：理論物理学、数理物理学、統計物理学）

<http://www.gakushuin.ac.jp/~881791/halJ.htm>

中央大 理工 物理 香取研究室（研究分野：非平衡統計力学、数理物理学、数理生態学）

<http://www.phys.chuo-u.ac.jp/labs/katori/katori-j.htm>

筑波大学 理工学系 小川泰研究室（研究分野：物性理論、形の科学）

<http://kafka.bk.tsukuba.ac.jp/>

名大 工 計算物性工学講座（土井研究室）

<http://www.stat.cse.nagoya-u.ac.jp/>

金沢大 理 計算科学科

<http://nature.s.kanazawa-u.ac.jp/~comp/department.html>

金沢大 理 計算科学科 樋渡研究室（研究分野：物性理論、計算物理学）

<http://hiwa003.s.kanazawa-u.ac.jp/>

金沢大 理 計算科学科 高須研究室（研究分野：量子系と高分子の計算物理学）

<http://hiwa003.s.kanazawa-u.ac.jp/~takasu/>

京大 理 凝縮系物理学研究室

http://www.ton.scphys.kyoto-u.ac.jp/cond_mat/

京大 理 非線形動力学研究室（蔵本研究室）

<http://www.ton.scphys.kyoto-u.ac.jp/nonlinear/>

京大 理 統計物理学研究室（小貫研究室）

<http://www.ton.scphys.kyoto-u.ac.jp/statistical/>

京大 総人／人環 物性理論グループ

<http://ace.phys.h.kyoto-u.ac.jp/>

阪大 理 阿久津研究室 (研究分野：統計力学および凝集体物性の理論)

<http://glimmung.phys.sci.osaka-u.ac.jp/>

阪大 理 物性理論グループ (赤井研究室・齋藤研究室)

<http://ann.phys.wani.osaka-u.ac.jp/>

阪大 理 宮下研究室

(研究分野：統計物理 (平衡系、非平衡系)、物性理論。主に量子スピン系、電子系)

<http://therm.phys.sci.osaka-u.ac.jp/index-j.html>

阪大 基礎工 物性 三宅研究室

<http://www-miyakelab.mp.es.osaka-u.ac.jp/>

阪大 産業科学研究所 吉田研究室 (研究分野：物性理論)

<http://www.cmp.sanken.osaka-u.ac.jp/>

大阪市大 工 数理工学研究室 (研究分野：物性理論、非線形動力学)

<http://WWW.a-phys.eng.osaka-cu.ac.jp/suri-g/suri.htm>

神戸大 理 利根川研究室 (研究分野：統計力学、主に格子系)

<http://quattro.phys.kobe-u.ac.jp/>

山口大 理 高分子物理学研究室 (原・山本研究室)

(研究分野：高分子・長鎖分子 (脂質) の構造・物性)

<http://yamamoto.phy.sci.yamaguchi-u.ac.jp/~kawamata/index.html>

九大 理 野村研究室 (研究分野：物性理論、低次元の強相関量子系)

<http://maya.phys.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>

九大 理 半導体物理学講座 (研究分野：超伝導 (高温超伝導が多いが、金属系や乱れた系等、幅広い)、極端条件下の低次元物性)

http://www.phys.kyushu-u.ac.jp/~arai/Superconductor_Group.html/index-j.html

九大 工 応用物理 甲斐研究室

(研究分野：非平衡非線形現象、パターン形成、液晶、界面、薄膜、生物物理、高分子)

<http://www.ap.kyushu-u.ac.jp/appphy/index-j.html>

九工大 情報工 好村研究室 (研究分野：複雑流体の物理、コロイド物理)

<http://www.blue.mse.kyutech.ac.jp/>

編集後記

編集後記の順番が回ってきてどうしようかと考えている最中に、大学院重点化がもたらす博士学位所有者の供給過剰、いわゆる学位インフレについての論説を新聞紙上で目にした。著者が社会学者なので文科系での現状がモデルになっていたが、理科系にも当てはまる生々しい内容であった。こういった論説が新聞紙上に現れることは、大学の現状を広く社会に知ってもらういい機会だと思う。そこでは、大学院拡充により学位インフレになりつつある現状の要因として主に、社会での需要の変化と大学院改革内容との間のアンバランスを挙げている。一方で、試験に合格して何となく入学（入院？）してくる学生たちの多くがこの現状を理解していないのではないか、博士の大量生産が研究水準を下げずにかつ教育面での要請にどう答えられるというのか、といった疑問も呈示されており、特にこの後者の点は個人的にも危機感を感じざるを得ない問題である。そして最後に著者は、学位取得後活躍の場を持たずに知的エネルギーを浪費する若者が増えることを懸念している。確かにそうだが、大学院に入る前の学部学生を見て知的エネルギーを既に失っていると思われるケースが多いことの方がよほど深刻である。休みなく常時いい研究成果の出せる一握りの研究者を別にすれば、どの研究に専念する前にも充電期間が多少なりとも必要であるはずだが、学部学生の4年間の中で知的エネルギーが放電してしまって大学院に入ってこられたのでは何にもならない。

ここ数年、教養部改組後の教養教育にまつわる問題が取りざたされることが多い。本学においても、主に学部専門に移ってからの素養を問題視する意味で、1, 2回生の間の科目選択中心のやり方はもう機能せず、必修中心のカリキュラムを学部側が設定してやる必要があると主張する理科系の学部（研究科）が増えてきている。最前線的话题を早いうちに学部学生に供給すれば、学生の知的エネルギーを呼び覚ます、もしくは充電させる方向に進むかも知れぬが、一方で授業が多過ぎると訴える学生も最近では少なくない。ましてや必修中心のカリキュラムにすれば、柔軟な学部教育にはなり得ず学生はより忙しくなるであろう。忙しい者に果たして、知的エネルギーを充電する余裕があるであろうか。

(I. R.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第1号 (平成10年10月号) 1998年10月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第1号 (平成10年10月号) 1998年10月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 71-1 (10月号) 目 次

○修士論文 (1997年度)

量子系の準位統計理論と Anderson 転移……………坂元 啓紀…… 1

非保存 Sandpile Model の理論的研究……………木内 豊…… 63

○研究紹介

分子機械にとりくむユニークな分子たち (東北大工 鈴木研究室)…… 119

○掲示板…………… 123

○編集後記…………… 126

物 性 研 究 71-1 (10月号) 目 次

○修士論文 (1997年度)

量子系の準位統計理論と Anderson 転移……………坂元 啓紀…… 1

非保存 Sandpile Model の理論的研究……………木内 豊…… 63

○研究紹介

分子機械にとりくむユニークな分子たち (東北大工 鈴木研究室)…… 119

○掲示板…………… 123

○編集後記…………… 126